

自治体×放課後NPOアフタースクール

.....

日本全国の放課後を ゴールデンタイムに！

支 援 事 例 紹 介

小学校の放課後を、一緒に「楽しい」でいっぱいにはませんか？

自治体の皆様へ

待機児童問題・場所や担い手の不足・活動のマンネリ化など各地域の課題解決を目指し、地域ニーズと子どもたちの願いに寄り添った放課後づくりをお手伝いします。皆様の地域の放課後事業に、私たちの経験が少しでも役立てたら嬉しいです。

放課後NPOアフタースクールが行う具体的なサポート内容

1 地域連携促進

地域資源を活用したプログラムの企画や市民先生の発掘など、放課後と地域のつながりをサポートします。

2 企業との協働

私たちがパートナー企業と企画・運営するプログラムへの参加や地元企業と連携したプログラムの開発を行います。

3 体験活動活性化

子どもたちに多様な体験を届けると共に、運営者の方による活動の活性化を目指します。

4 学校活用・環境設計

学校施設を活用した居場所づくりや遊びの環境設計をサポートします。

5 安全管理・スキルアップ研修

現場運営に必要な基礎知識をはじめ、実践的なスキルを学ぶ研修を実施します。

6 システム活用・ICT支援

入退室管理システムの導入や体験活動充実、運営力向上に向けたICTの準備～実用までをサポートします。

7 新規開校支援

一からの環境づくりや、チーム運営についてご提案します。

8 総合計画策定

これまでの知見やノウハウを活かして放課後事業計画等の策定をお手伝いします。

9 総合コーディネーター

地域一帯の放課後子供教室の運営改善やコーディネーターの育成等を行います。

10 アフタースクール体験会

現地を訪問し、地域に合った「アフタースクールモデル」をその場で体験できる機会を提供します。

その他、視察・実地研修／代表平岩による講演会／直接運営委託（予算2000～4000万円程度）等、各自治体の課題やニーズに応じた支援を行なっています。

まずはお気軽にお問い合わせください

 放課後 NPO
アフタースクール

事業開発チーム 03-6721-5043 | kaihatsu@npoafterschool.org

愛知県津島市 放課後子ども教室のICT活用と拠点間連携による活動活性化

● 期間 2021年4月～2022年3月

● 2021年度実績

● 支援開始の背景

愛知県津島市は、地域等の協力を得て、放課後の子どもたちの安心安全な居場所として2009年より毎年2校ずつ放課後子ども教室を開校し、現在は市内全8校で実施。充実化を目指す中、コロナの影響による様々な制約で活動推進が厳しい状況に。また現地スタッフ同士の交流・情報交換・悩みの共有といった場がなく、子ども同士のつながりも希薄化したことを受け、放課後NPOアフタースクールと協働。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
第1回情報交換会／安全管理研修実施 「日常の安全管理と救急対応」	企業連携プログラム開催	情報交換会 夏休み番外編	第2回情報交換会・安全管理研修実施 「嘔吐対応・感染症対策」	オンライン交流プログラム開催 スタッフがプログラム交流会	だがしやチャレンジ当日	第3回情報交換会・安全管理研修実施 「防災・避難訓練」	オンライン交流プログラム開催 ふりかえりの会・ICT研修開催	オンライン交流プログラム開催

支援レポート

ICTで大人も子どもも放課後につながった！



2021年度は3校をモデル校としてさらなる活動充実、子ども主体の活動へのチャレンジを推進。オンラインを活用したスタッフ交流、および子ども同士の交流の場を放課後NPOアフタースクールが企画し、プログラムを開催！子どもがだがしやさんを体験するプログラムなど大いに盛り上がり、また大人同士も子どもへの想いを交わし合う温かい時間が生まれました。今後は地元企業とも連携し、さらに地域とのつながりを深めていきます。

自治体担当者の声/社会教育課/矢入さん



今回、オンラインプログラムやスタッフ同士の情報交換など、さまざまな角度からご支援をいただきました。そのなかで、一番の収穫はスタッフの皆さんが放課後NPOアフタースクールさんの取組みに触れ、「もっと挑戦してもいいんだ!」と感じ、子どもたちの活動の充実につながったことではないかと思います。これからも、大人もともに学び、より充実した放課後子ども教室を目指します。

放課後NPOアフタースクール 担当スタッフの声/事業開発チーム プロジェクトマネージャー/野田遥佳



子ども達と放課後の場に対してとてもあたたかい想いをもちた津島市の皆さん。コロナ禍においてもより一層の活動充実を目指して、オンラインの導入と活用を市を挙げて取り組まれました。オンライン活用という放課後事業では先進的な挑戦をご一緒させていただき、皆さんと学び合いながら津島市の放課後を盛り上げています。

兵庫県南あわじ市 一体型運営支援およびスタッフ研修の充実

● 期間 2019年4月～現在

● 支援開始の背景

南あわじ市は、総合計画(2017～2026年度)の中で、「ひかり輝く人づくり」を柱の1つに位置付け、次世代を担う人材の育成を推進。教育委員会では、2020年度から5年間の第3期南あわじ市教育振興基本計画のテーマを『学ぶ楽しさ日本一』とし、その取り組みの一つに『アフタースクール事業』を掲げた。

● 2021年度実績

毎月実施：市役所職員/コーディネーター等との打合せ、安全管理研修サポート

4月	5月	6月	7月	9月	11月	1月	3月
支援校情報交換会開催	全体研修会(マインドセット)開催	支援校情報交換会開催	支援校情報交換会開催	支援校情報交換会・全体研修会開催 (オンラインプログラム体験会)	支援校情報交換会開催	支援校情報交換会開催	全体研修会開催 (実践発表・ビジョン作り)

支援レポート

「学ぶ楽しさ日本一!」を放課後でも子どもたちと実現!



市内全校区の放課後事業の一体型化を目指し、現場マニュアルや運営の体制面の設計などの仕組み作り、現場スタッフの安全管理研修やマインドセット、子ども主体の活動など幅広い取り組みを実施。子どもが自ら考え判断して行動することができるよう遊びを通じたさまざまな体験プログラムを提供し、子ども達の自主性、積極性、コミュニケーション力、また郷土愛などが育まれることを目指しています。

自治体担当者の声/南あわじ市教育委員会 体育青少年課 青少年育成係/柏木さん



アフタースクールの立ち上げから共に取り組み、放課後事業のノウハウを学んでいます。南あわじ市では、多種多様な体験プログラムを通じて興味・関心を持ち、「なりたい自分を見つける」ことができる放課後の素敵な居場所となるよう地域とともに「学ぶ楽しさ日本一」の実現に向けて、全校区開設を目指していきます。

放課後NPOアフタースクール 担当スタッフの声/事業開発チーム プロジェクトマネージャー/村崎理恵



元気で意欲的な現場スタッフさんがたくさんおり、子どもたちのためによりより放課後現場を追い求める市全体の雰囲気は素晴らしいと感じます。我々アフタースクールの現場で取り組んできたノウハウや事例を、南あわじ市に合った形で伝えしながら共に放課後作りに邁進しています。

千葉県千葉市 放課後子ども教室総合コーディネーター

● 期間 2016年4月～現在

● 2021年度実績

● 支援開始の背景

市立小学校108校のうち現在約80校は地域ボランティアが放課後子ども教室を運営。高齢化や共働き世帯が増加し、活動が縮小傾向であることから、ボランティアの負担を減らしつつも様々な体験プログラムを子どもたちに届けるために2016年より総合コーディネーター支援を実施(放課後NPOアフタースクールへ委託)。各校の課題に合わせ、これまでに31校のモデル校を支援。
(2022年4月現在)

4月	5月	6月	7月	8月	10月	11月	12月	2月	3月
学校へ訪問・打ち合わせ、地域コーディネーター座談会開催	活動開始に向けた準備・打合せ、プログラムコーディネート開始	活動現場での運営サポート開始	継続プログラム開始(2校)	地域コーディネーター交流会(12校参加)開催	地域コーディネーター交流会(8校参加)開催	千葉市放課後フェス(市内65校の児童が参加)開催 地元企業連携プログラム、継続プログラム開始(2校)	地域コーディネーター交流会(9校参加)開催	活動振り返り、次年度に向けての打ち合わせ	地域コーディネーター交流会開催

支援レポート

地域みんなで育てる放課後!!

2016年度より総合コーディネーターを配置し、充実化に力を入れる。また、2017年度より子どもルーム(学童保育)・放課後子ども教室一体型事業(=アフタースクール事業)を開始。毎年数校ずつ開所し、アフタースクールは現在24校。

今後もアフタースクールを拡大、放課後子ども教室とアフタースクール両者の活動活性化といった事業全体に伴走していきます。



自治体担当者の声/千葉市教育委員会 生涯学習部 生涯学習振興課/田近さん



定期的に打合せの場を設け、情報共有とともに放課後全体の進め方について一緒に考えて頂き、本当に良かったです。私たちでは把握しきれない現場の実情を理解した上で支援してくださるので、支援を受けたモデル校からはとても効果的だったという声が届いています。子どもたちのことを中心に考え、様々な形で千葉市の放課後の発展に貢献していただいています。

放課後NPOアフタースクール 担当スタッフの声/千葉市総合コーディネーター プロジェクトマネージャー/久野諭加



千葉市の放課後の魅力は、何といっても地域の方々が積極的に参画してくださっていること!そんな地域の力を活かしながら、市内108校の子どもたちみんなにより楽しい放課後が届けられるよう、未来を見据え試行錯誤しながら共に日々奮闘しています。

神奈川県鎌倉市 モデル校の学校教室活用と放課後の活動充実支援

● 期間 2021年4月～現在

● 2021年度実績

● 支援開始の背景

神奈川県鎌倉市は全ての児童が放課後等の時間を安全・安心に過ごすことができ、多様な体験・活動を行うことができる事業としてアフタースクール(*)と学童保育を一体で行う「放課後かまくらっ子」を実施。平成30年度から事業を開始し、令和2年度をもって市内全小学校区で実施を完了している。現在は、放課後かまくらっ子全体の質の向上を目指す中で放課後NPOアフタースクールと協働。

*鎌倉市では放課後子ども教室を「アフタースクール」と呼称。

3月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市担当者の学校活用拠点(他自治体)現地視察	学校活用モデル校決定、現場訪問 関係者ヒアリング	環境設計に向けたビジョン検討、室内環境づくりの方向性検討ブレスト	保護者説明会・地元の設計士さんと環境設計相談	スタッフ全員ミーティング(ビジョン検討と目線合わせ)	市長報告、放課後推進部会報告、環境設計打ち合わせ	モデル校利用者ニーズ調査(アンケート実施)	環境設計に合わせた活動充実と広報面についての相談	地元の設計士さんと可動式家具デザイン打ち合わせ 子ども会議(放課後の学校教室の使い方アイデア出し)	学校教室の壁面アート制作ワークショップ、 プログラミングツール体験会	企業連携プログラム開催	学校教室の看板づくりワークショップ

支援レポート

学校教室の活用に向けて

学校の教室等を日常的にお借りして放課後子供教室を実施している施設において、他施設よりも活動実施が難しい場面があります。学校生活の延長でなく、放課後のあそびスイッチが入る環境設計と放課後子供教室としてのさらなる活動充実に向けたモデルケースをつくっていくことを目指し、ヒアリング機会やワークショップ開催を現地スタッフと共に取り組んでいます。



自治体担当者の声/鎌倉市こどもみらい部青少年課/川村さん



本市では市立小学校の全16校区を対象として「放課後かまくらっ子」を実施しています。事業開始から4年目を迎え、今後さらに質の向上を図っていくなかでNPOアフタースクールの持つ様々な経験から提供されるプログラムや提案は我々にとって、非常に魅力的なものでした。協働を通じて、得た知見をさらに活かしていきたいと考えています。

放課後NPOアフタースクール 担当スタッフの声/事業開発チーム プロジェクトマネージャー/栗林真由美



鎌倉市は、単なる全児童対策事業にとどまらず、市全体で放課後の質向上に本気で向き合うための体制、パワーがあることが何より素晴らしいと感じます。学校活用・活動充実ともに、一朝一夕の変化が難しい課題ですが、すでにある鎌倉市ならではのリソースや現場の皆さんの想いを大切に、ワクワクする放課後づくりをご一緒にしています。